

## 高齢者施設等における新型コロナウイルス感染予防・感染拡大防止について

**対策1 利用者にマスクを着用してもらう取組を再検討しましょう。**

高齢者施設で利用者にマスクを着用していただくことは大変難しいと思います。しかし、ひとたび施設内にウイルスが入った場合、マスクなしでの対応は感染拡大につながります。また、マスクなしの利用者が陽性になった場合、職員がマスクをしていても、眼の粘膜からの感染の可能性を考慮し、職員が濃厚接触者となること場合があります。利用者のマスク着用、マスクなしの利用者への対応についてできることはないか再検討ください。

①	認知症等によりマスクの着用が困難な場合でも、着用できるよう工夫している (人の好みに合わせた色、柄をプリントする、五感に訴える等)	<input type="checkbox"/>
②	常時マスクを着用してもらうことは難しいが、場面や時間を選んで着用をお願いしている。(レクレーションで歌う時、顔を近づけて作業をする時、共有エリアで過ごす時は着用してもらう等)	<input type="checkbox"/>
③	マスク着用の協力が得られない利用者に対応する職員は、ゴーグル又はフェイスシールドを使用している	<input type="checkbox"/>
④	マスクは、きちんと鼻が隠れるように着用している	<input type="checkbox"/>
⑤	マスクの表面を触らないようにしている。もし触ってしまった時はすぐに手指消毒を行っている	<input type="checkbox"/>
⑥	職員は、職場では不織布のマスクを使っている。(布、ウレタン、ポリエステルではなく)	<input type="checkbox"/>

**対策2 手指消毒を徹底しましょう。**

接触感染を予防するためには、手指消毒の励行が重要ですが、継続するためには努力が必要です。消毒薬の減り具合等を記録する等、取組を客観的に評価する等、継続できる工夫をしましょう。

①	職員の手洗い、手指消毒を励行している。手洗いの後の拭き取りには、共有の布タオルではなく、ペーパータオルを使用している。ハンドル式の蛇口の場合には、ハンドルの消毒も行っている	<input type="checkbox"/>
②	手洗い場が少ない等により、手洗い、消毒を行うことが難しい場合、職員一人一人がポシェット等に携帯用消毒液を入れて、こまめに手指消毒を行う等工夫している	<input type="checkbox"/>
③	職員用の共用パソコン、タブレットの使用前後は手指消毒している	<input type="checkbox"/>
④	利用者、職員の動線上にアルコール消毒液を配置する等、手指消毒しやすい環境を整備している 来所時の動線上に配置している トイレ使用時の動線上に配置している 食事の前の動線上に配置している レクレーションや、リハビリの前の動線上に配置している 個室でのケア(排泄等)の動線上に配置している	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
⑤	消毒液の減り具合を定期的に観察し、手指消毒の評価をしている	<input type="checkbox"/>

### 対策3 定期的な換気をしましょう。

新型コロナウイルスは 100 nm=0.1 μmと、とても小さいウイルスです。

(コロナウイルスを人間くらいに拡大すると、人間は地球の直径くらいです)

換気をすることで、感染予防につながります。

エアコンは換気になりません。

空気清浄機だけでは不十分です

①	定期的に窓を開けて換気している エアコンをつけた状態で1時間に1回 10分、できれば30分に1回5分換気している	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
②	2方向で換気している	<input type="checkbox"/>
③	喀痰吸引を行った時は換気をするようにしている	<input type="checkbox"/>
③	送迎時、車内は エアコンを外気モードにしている 窓を少し開けている 車内ではしゃべらないようにしている	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
④	入浴介助時は 職員はマスクを着用している なるべく利用者の前に立たないようにしている 脱衣所ではゴーグル、フェイスシールド、アイプロテクションを使用している	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
⑤	職員用の休憩室においては、一度に入室する人数を抑制している 窓の開放による換気や、扇風機で外方向への空気の流れをつくっている	<input type="checkbox"/>

### 対策4 施設内での密を避けましょう。

咳や会話時の唾は、1～2m飛び、飛沫感染を起こします。

各施設で、利用者同士が2m以内の距離にある場面を点検し、距離を置く方法はないか、飛沫を防ぐ方法はないか検討しましょう。

歯磨き時も唾の飛沫があります。物品の扱いも含めて注意が必要です。

①	レクリエーションや食事の時は、正面に他の利用者が座らないように配慮している それが難しい場合は、パーテーションで区切る等の工夫をしている 密集を避けることができるよう、食事や休憩の時間をずらしている	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
②	レクリエーションをする場合、利用者ごとに座る場所を決めている (利用者の陽性が確認された場合、感染の可能性がある人(濃厚接触者)が特定できます。)	<input type="checkbox"/>
③	洗面所に利用者の歯ブラシ・コップを置いている場合は、接しないように距離をとっている	<input type="checkbox"/>
④	歯磨き時に、コップ等が他の利用者の飛沫を浴びないように注意している	<input type="checkbox"/>